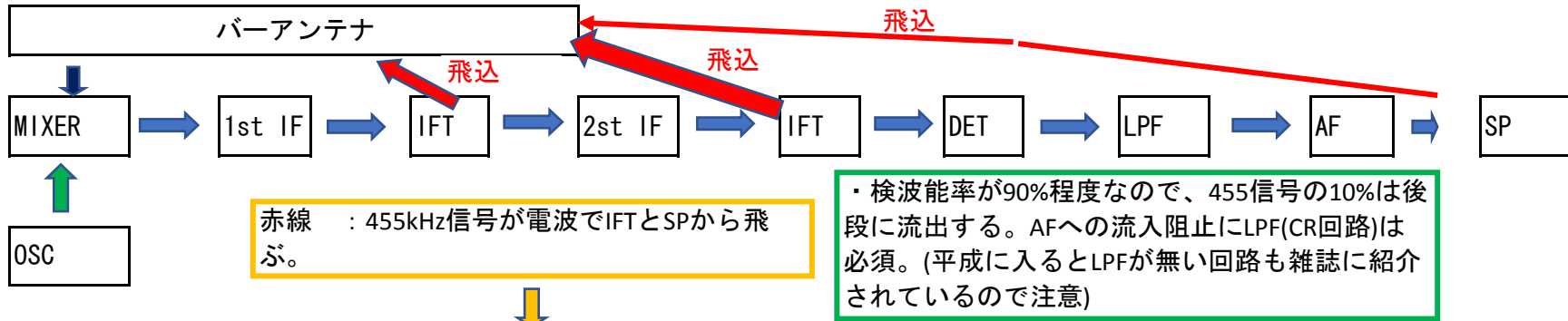


## ラジオでのIFからの帰還信号による発振考



### 対策

- 1: IFTとバーアンテナとの距離をとる。
- 2, IF段のゲインを減らし飛ぶ量を少なくする。(感度は落ちる)
- 3,バーアンテナコイルの2次側巻数を減らし、感度を落とす。(3の方法は中国製キットでかなり採用されている)

## 調整方法

- ・ 「JIS C6102-2」 規定のように 電波で飛ばして調整 : テストループ現行新品は唯一「祐徳電子」で取り扱い中。  
必ずテストループから飛ばすこと。テストループ使用せずではトラッキングは全く無理。

## 豆知識 :

- ・ バーアンテナコイルの1次:2次の巻数比 ⇒ 100:18 ~100:50 程度。
- ・ トラッキング時に、低い側の感度が不足する場合には2次側巻数を増やす。
- ・ 日本製70年代ラジオキットでは 100:20~100:30 が主流。
- ・ 中国製キットでは 100 : 5 も流通している。(彼等の帰還発振対策)

2018/Nov/30  
RADIO KITS IN JA